



NAGANO働く女性会議 note Vol.26



信州働くみんなの座談会in上田 開催レポート

皆さん、こんにちは。だんだんと春の気配を感じる季節となりました。

1月19日(月)、上田商工会議所にてNAGANO働く女性会議の全県版「信州働くみんなの座談会」を開催し、企業・行政・関係団体などから約100名が参加しました。冒頭では、ジェンダーギャップや長野県の現状に関するデータ共有に続き、上田地域の事業所から若手社員・女性管理職・経営者といった様々な立場のパネリストが登壇し、「ワクワク働くにはどうしたらいいか?」をテーマに、将来への不安や成長実感、地方で働く魅力、職場環境の整備、仕事と育児・家事の両立などをテーマに意見が交わされ、「働きやすさ」と「働きがい」の両立や、性別を問わず共通のロールモデルの必要性についても話題となりました。その後のグルーptークも同じテーマで一人ひとりが率直な思いを書き出しながら対話を深めました。多く語られたのは人間関係やコミュニケーションの質で、制度や待遇だけでなく、「安心して意見を言える」「失敗を受け止めてもらえる」といった心理的安全性が土台として重要であるとの声が多数聞かれました。また、やりがいやワクワクの感じ方は人それぞれで、一律の正解はないという認識も共有されました。参加者からは「立場を越えて本音が言えた」「少数だから話しやすかった」といった声も聞かれ、互いの気づきや共感が得られる示唆に富んだ座談会となりました。

パネルディスカッション「ワクワク働くにはどうしたらいいか?」の主な意見

- *会社に大きな不満はないが、将来への漠然とした不安がある
- *できなかったことができるようになり、誰かの役に立てた時にワクワクを感じる
- *都会の華やかさだけでなく、地方でプライベートを充実させながら働けることも魅力
- *管理職になって初めて、女性専用トイレや更衣室などの環境整備を実現した
- *女性の働き方のロールモデルがまだ少ない
- *子育て中は勤務時間が長くなるのではと、キャリアアップを敬遠する傾向がある
- *女性だけでなく、男性も育児や家事と両立できる共通のロールモデルが必要
- *「働きやすさ」と「働きがい」のどちらも欠かせない
- *地方で働くことの魅力を、もっと若者に伝えていきたい

グルーptークでの意見(一部抜粋)

- ① 安心して働ける職場・人間関係**
 - *まずは安心して働ける職場
 - *人間関係が良いことが一番のモチベーション
 - *雑談できる空気がある職場
- ② やりがい・自己肯定感・評価**
 - *できて当たり前ではなく、きちんと評価されたい
 - *やりがいは人それぞれ
 - *社員だけでなく、パートも同じように大切に
- ③ 働き方の柔軟性とプライベート**
 - *自分のやりたい仕事・部署で働けるとワクワクする
 - *プライベートの充実が仕事の活力になる
 - *やってみて合わなければ戻れる柔軟さも必要
- ④ 組織・経営・風土づくり**
 - *役員や管理職が率先して声を聞くことが重要
 - *女性活躍にはキーマンの存在が大きい
 - *性別に関係なく、フラットで平等な職場を
- ⑤ 家庭・地域・社会との関係**
 - *家族の協力がモチベーションにつながる
 - *Uターンには行政の後押しも必要



パネリスト

堀内 健一 様(株三葉製作所/上田商工会議所会頭)
石塚 夕起 様(株宮下組)
戸谷 由佳 様(東京精電株)
今井 拓夢 様(上田ガス株)
ファシリテーター/塚田 まゆり(長野商工会議所 副会頭)

